

ハクサンベッコウ

Nipponochlamys hakusanus (Pilsbry & Hirase in Hirase)
異総目・ベッコウマイマイ科

【福井県カテゴリー】 新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】 情報不足

選定理由

特殊な生息環境に生息し、生息域も狭く、生息個体群も小さい。また、複数種混在すると思われる。

種の特徴

殻高 4 mm、殻径 7 mm 程度。殻は、ピロード状の光沢のある赤褐色で、薄質の扁平な低円錐形である。スギ林でスギの枯れ枝が堆積している自然林等、樹木の落葉下に生息する。原生林の山麓にある神社の境内等にも生息する。

分 布

本種は、本州（北陸～近畿以西）に分布し、本県では山地の中腹以上のスギ植林地の枯枝の堆積した落葉中や落葉広葉樹の林道脇の落葉中、原生林の山麓の神社の境内等に分布する。

生息を脅かす要因

スギ・ヒノキ植林地の間伐、また、搬出林道建設や近年増加しているシカの食害による森林下層植生の林床変化が生息環境の劣化に繋がることが想定される。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会編（1985）、東（1982）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○					○	○					○	○	○	

クリロベッコウ

Japanochlamys cerasina (Pilsbry)
異総目・ベッコウマイマイ科

【福井県カテゴリー】 新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】 情報不足

選定理由

最近、福井県では生息が確認された調査件数が少ない。特殊な環境に生息し、分類学的研究が不十分であり、今後の動向に注意を要する。

種の特徴

殻は低平で、殻高 5 mm、殻径 8 mm、螺層 5.1/2 層の微小貝。赤みがかった琥珀色の螺層はよく膨らみ、光沢は強い。縫合は深く、周縁は円い。臍孔は広く深い。

分 布

本種は、東北～関東・佐渡に分布する。県内では、低地から山地まで、自然豊かな自然公園や南越・丹生山地に分布する。

生息を脅かす要因

落葉樹・植林地の下層の日陰になる湿潤な森林内に生息することから、間伐・林道建設。急増しているイノシシやシカの植生食害等、林内の乾燥化が、生息地劣化につながる。

参考文献 世界文化社（1986）、東正雄（1982）、野村・高橋（2008）、福井県自然環境保全調査研究会編（1985）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○	○	○						○			

コシタカコベソマイマイ

Satsuma fusca (Gude)
異総目・ニッポンマイマイ科

【福井県カテゴリー】 新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】 準絶滅危惧

選定理由

森林に生息し、原生林や社寺林に分布するが確認情報が減少しており、今後の動向に注意を要する。

種の特徴

殻高約 35 mm、殻径約 45 mm、螺層 7 層で淡黄色から赤褐色。コベソマイマイに酷似するがより殻高が大きくなる。広い半月状の殻口唇縁は肥厚し赤紫色。臍孔は閉じる。軟体部は淡赤褐色地に黒褐色の雲状模様がある。やや乾燥した山麓帯に生息する。

分 布

中部地方と、北陸から近畿北部に分布する。本県内では海岸近くの丘陵地から低山地まで広い範囲に分布する。

生息を脅かす要因

生息地である落葉広葉樹林の森林伐採や土地造成等に伴う環境変化が主な要因である。また収集家・愛好家による採集圧も個体数減少の要因である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会編（1998）、岐阜県編（2010）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○